

日満ロータリークラブ R1 脱退

昭和15年(1940年)5月、横浜で前年7月R1承認をうけた第70、72、73地区日本・満州連合の大会が開催され、前途の発展を誓い合ったが国際情勢には暗雲がさしていた。当時のヨーロッパ情勢の急変混乱、日本では官憲による例会干渉で、通常例会続行が困難となり、R1離脱を決意し1940年(昭和15年)9月4日R1に通達をした、1920年10月20日東京RC設立以来20年弱の歴史に表面的には幕をおろした。

当時日満合わせて48クラブ、2142名の仲間が解体した。

次のR1復帰1949年3月23日(水)までの戦時中ロータリアンの執念はクラブの名前を変えてでも、例会は続行していた。

東京水曜クラブ、大阪金曜会、横浜同人会、

名古屋同心会、函館職能協議会、福岡清和会 など

29クラブが、日の丸を掲揚し、君が代を斉唱し、続けた。